

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	国語 I	
科目基礎情報							
科目番号	0001			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	電気電子工学科			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	3		
教科書/教材	教科書 久保田淳ほか編著「高等学校 国語総合」(明治書院)。参考図書 国語辞典、古語辞典、漢和辞典						
担当教員	江島 孝則,小宮 厚						
到達目標							
1 文章を的確に読み取り、ありありと感受し、自分なりの判断を持つことができる。 2 相手を意識して、自分の考え、思い、感じることを適切に表現し、伝達できる。 3 日本語を多面的に理解し、日本語への関心を深め、進んで読書することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日本語で書かれた文章(現代文、古文、漢文)を的確に読み、感受し、判断して、よりよく思索するための基本的な日本語力を培うとともに、相手を意識して、自分の考え、思い、感じることを適切に表現・伝達できる能力の伸張を目指す。あわせて、言語としての日本語の性格を理解し、ことばによる表現・理解とは何か、についての認識を深め、進んで読書する態度を培う。						
授業の進め方・方法	・前期は週2回、後期は週1回の授業だが、現代文編と古典編を交互に実施する場合には、現代文2:古典1の比率を目安とする。 ・本文を予め読んで授業を受けるということを習慣化してほしい。教科書の文章は日本語としても優れており、声に出して読むことを勧める。古文や漢文は、暗誦するまでに読み込んでほしい。 ・授業の発展として、問題意識を持って読書に励み、また自分の考えや思いを文章に書いてみるという習慣を早く身につけてほしい。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	現代文編 随想「『ふと』と『思わず』」ほか 古文編 古文入門「児のそら寝」ほか				
		2週	現代文編 随想「『ふと』と『思わず』」ほか 古文編 古文入門「児のそら寝」ほか				
		3週	現代文編 評論一「水の東西」ほか編 徒然草・竹取物語・伊勢物語	古文			
		4週	現代文編 評論一「水の東西」ほか編 徒然草・竹取物語・伊勢物語	古文			
		5週	現代文編 評論一「水の東西」ほか編 徒然草・竹取物語・伊勢物語	古文			
		6週	現代文編 小説一 「羅生門」ほか編 漢文入門 「守株」ほか	漢文			
		7週	現代文編 小説一 「羅生門」ほか編 漢文入門 「守株」ほか	漢文			
		8週	現代文編 小説一 「羅生門」ほか編 十八史略・唐詩	漢文			
	2ndQ	9週	現代文編 小説一 「羅生門」ほか編 十八史略・唐詩	漢文			
		10週	現代文編 詩 「サーカス」ほか編 十八史略・唐詩	漢文			
		11週	現代文編 詩 「サーカス」ほか編 和歌・平家物語・土佐日記・奥の細道	古文			
		12週	現代文編 評論二「マンモスの歩いた道」ほか編 和歌・平家物語・土佐日記・奥の細道	古文			
		13週	現代文編 評論二「マンモスの歩いた道」ほか編 和歌・平家物語・土佐日記・奥の細道	古文			
		14週	現代文編 評論二「マンモスの歩いた道」ほか編 論語・文	漢文			
		15週	現代文編 評論二「マンモスの歩いた道」ほか編 論語・文	漢文			
		16週					
後期	3rdQ	1週	現代文編 小説二 「海の方の子」ほか				
		2週	現代文編 小説二 「海の方の子」ほか				
		3週	現代文編 小説二 「海の方の子」ほか				
		4週	現代文編 小説二 「海の方の子」ほか				
		5週	現代文編 評論三 「働くことの意味」ほか				
		6週	現代文編 評論三 「働くことの意味」ほか				
		7週	現代文編 評論三 「働くことの意味」ほか				
		8週	現代文編 短歌・俳句 「白鳥は哀しからずや」ほか				

	4thQ	9週	現代文編 短歌・俳句 「白鳥は哀しからずや」ほか	
		10週	現代文編 小説三 「城の崎にて」ほか	
		11週	現代文編 小説三 「城の崎にて」ほか	
		12週	現代文編 小説三 「城の崎にて」ほか	
		13週	現代文編 評論四 「世界がハンバーガー	
		14週	現代文編 評論四 「ブナの森で」ほか	
		15週	現代文編 評論四 「ブナの森で」ほか	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0